

第5回 日本遺産「里沼」テーマ別 タスクフォース情報共有会議

- 1)日時 令和3年2月18日(木)10:00~10:45
- 2)場所 館林市役所3階政策審議室
- 3)出席 須藤市長・館林市役所「里沼」関係課職員(係長級・担当者)
- 4)須藤市長あいさつ

新型コロナにより事業実施が困難な中、各チームで日本遺産「里沼」を活かした事業展開が着実に進んでおり、各課担当職員に敬意を表する。本会議で情報共有を行い、各案件については議論をしながらステップアップを図って行きたい。

5)各チーム報告

	各 TF チームの取組み報告	質問・意見等	方向性
1	<p>沼辺土地活用チーム (都市計画課・道路河川課・緑のまち推進課)</p> <p>沼辺周辺の土地活用に関して、庁内関係課で協議及び手法の検討を行った。活用可能な補助金、事業主体の選定が課題。</p> <p>近藤沼公園(中沼)におけるパーベキュー等施設整備が進行中。サイトに設置するタープ屋根の形状・デザインが決定し、着工に移る段階。</p>	<p>【須藤市長】</p> <p>土地活用では、観光協会の自立に向けた動きとリンクできると良いだろう。</p>	—
2	<p>日本遺産ロゴ使用・商品ブランド化チーム (商工課・農業振興課・日本遺産PJ)</p> <p>館林商工高校生デザインの里沼ロゴを里沼公式WEBサイト、幟旗、パンフレット等で活用・PR中。昨年3月発売の里沼切手も1,000枚が完売した。</p> <p>里沼グルメ券は登録169店舗、発行9万枚のうち約5万枚が換金済み。使用用途の第2位に川魚店がランクインし、地元川魚料理の振興に繋がっている。</p> <p>百年小麦ブランド化委員会の動きとして、①播種・麦踏体験、②食育事業へのクラウドファンディング、③下敷き配付(小学校)、④給食メニュー導入を行った。②では当初目標50万円を早々に達成、ストレッチゴール100万円もクリア。商工高校との連携事業として、「百年小麦PR班」が活動を開始。</p>	<p>【秘書課長】</p> <p>連絡通路マルシェの次回開催予定は？</p>	<p>【農業振興課】</p> <p>2月上旬開催予定であったが新型コロナの状況を考慮し延期した。次回期日は未定。</p>
3	<p>体験型観光関係チーム (つつじのまち観光課・道路河川課・日本遺産PJ)</p> <p>城沼水面利用者協議会は、県館林土木事務所の判断(新型コロナ感染拡大)により延期。年度明けでの開催によりルール策定・届出制度の提示を見込む。</p> <p>2/21(日)日本遺産シンポジウム「つながり日本遺産」を有観客開催+市公式動画チャンネルでライブ配信。清瀧氏とバレエ団体による「里沼物語」のほか、両毛3市長[桐生市・足利市・館林市]パネルディスカッションあり。現時点で申込者270名/定員500名。</p> <p>北関東のエージェントを対象としたモニターツアーを実施し、日本遺産「里沼」関連の商品造成・プロモーションを進める。また、地元タクシー業者と連携し「里沼×よりもい」周遊観光定額タクシー運行も準備中。</p> <p>次年度秋季に東武鉄道と連携し「里沼巡り」デジタルウォーキングラリーを実施予定。3沼周遊と健康増進をリンクさせる。実施期間は3か月間の予定。</p>	—	—
4	<p>里沼グローバルトランスミッションチーム (秘書課・日本遺産PJ)</p> <p>2/2(火)城沼散策マップ発行。3月下旬には多々良沼散策マップ発行を予定。幟旗やステッカーも劣化等を考慮し増刷を行い、公共施設・観光協会・商店街等に再配布する(3月上旬)。</p> <p>①YouTube「里沼ちゃんねる」での普及動画を3回まで配信済み。②里沼公式WEBサイトの多言語化[英語・中国語]と③市内10箇所でのAR(拡張現実)導入も準備中。また、来訪者案内用として三の丸プール跡・第二資料館に解説サイン新設、館林駅連絡通路等へのデジタルサイネージ導入も進めている。</p> <p>市広報広聴係関連では、市「動画フェス」は4作品の</p>	<p>【つつじのまち観光課】</p> <p>次年度で駅前観光案内所の連絡通路移転を予定。サイネージを有効活用したい。</p>	<p>【日本遺産PJ】</p> <p>観光案内所移転に対応できるよう可動式で設計。積極的活用を。</p>

	応募があり、うち3つは「里沼」関連。また3/15(月)予定の市HPリニューアルではトップ画面で「里沼」バナーを設置し、公式WEBサイトへの誘導を図る。		
5	水辺環境保全チーム（地球環境課・緑のまち推進課・農業振興課・文化振興課） 城沼の水質浄化を目的とし、多々良沼から鶴生田川経由の導水確保を県館林土木事務所と協議。揚水ポンプ2基中1基故障中のため修繕を要望。 日向漁協から要望のある多々良沼の水位上昇については、木戸堰の運用変更で効果があると考えられる。国交省渡良瀬河川事務所との協議に先立ち県・市で水位変化データや実証実験等を準備している。	【須藤市長】 揚水ポンプ修繕の目的を教えて欲しい。	【地球環境課】 次年度、県で予定。
6	その他 【文化振興課】 旧二業見番を3/15(月)からライトアップする。 【企画課】 組織機構改革による4月から文化振興課内に「日本遺産推進係」を新設。	【須藤市長】 文化庁の日本遺産フォローアップ委員会での議論を教えて欲しい。	【日本遺産PJ】 認定後6年の事業期間経過後は同委員会により地域活性化の進捗度が査定される。現在104件で一旦認定が終了しているが、今後は予備候補の新設による入替え制も視野にあるとのこと。

6) 須藤市長総評

コロナ状況下でも各チームともここまで進展があったことに心より感謝する。昨年11月に市民・団体が集まり「ヌマベーション連絡協議会」が設立された。現状では市内タスクフォース単独で様々な課題解決に取り組んでいるが、次年度以降は各分野の地域プロデューサーやヌマベーション連絡協議会参加者との連携なども進めて行きたい。